



## 9月議会 第3回 定例会

9月6日～10月3日

## 補正予算より

9月補正予算として、出産・子育て応援プラン給付金の支給経費やがん患者支援の拡充を図りました。

## 出産・子育てを応援!



### 出産応援プラン給付金5万円 子育て応援給付金5万円を支給!

令和5年3月に開始した「出産・子育て応援プラン事業」を10月以降も継続します。妊娠から出産・子育てまでの家庭に経済的支援として、妊婦届出や出生届出を行った妊産婦等に5万円を支給します。

## がん患者支援を拡充!

### ウィッグ購入費5万円/胸部補正具購入費2万/ エピテーゼ購入費5万円を支援!

がん患者の治療と社会参加の両立、経済的負担の軽減のため、アピアランス支援を拡充します。ウィッグ、胸部補正具（補正下着・補正パッド）、エピテーゼ（人工乳房、乳頭、鼻、指など）等の補正具等が必要になった方に購入費助成を行います。

令和5年10月～ 申請受付開始



## 代表質疑より

## 子ども医療費助成のさらなる充実!

### 子ども医療費助成の対象を18歳まで拡大!

子ども医療費助成については、長引く物価高騰の影響を受けている子育て家庭の厳しい現状や、18歳までを助成対象とする自治体が県内市町村においては既に7割を超え、政令市においても今後大半を占める状況となることなどを踏まえ、助成対象を18歳まで拡大することを来年度の実施に向け、検討します。

## 意見書より

## 全会一致で採択されました!

### 硬膜外自家血注入療法ブラッドパッチに対する適正な診療上の評価等を求める意見書

交通事故、スポーツ、落下事故、暴力など全身への外傷等を原因として発症する脳脊髄液漏出症（減少症）によって日常生活を大きく阻害する様々な症状に苦しんでいる患者の状況が、全国から報告されてきました。平成28年からブラッドパッチ療法が保険適用となったものの、診療報酬算定の要件の注釈として「本疾患では起立性頭痛を認めない場合がある」と加えることや、X線透視を要件として、漏洩部位を確認しながらの治療を可能にするよう、診療上の評価を改定することを国に求めました。

# 多様な学びの機会と居場所の提供について

## 不登校児童生徒への支援等について



コロナ禍において、「感染拡大の可能性が高い」と保護者が判断し、学校を休む児童生徒について、校長が合理的な理由だと認めれば、欠席として取り扱わないとしたこともあり、もともと不登校気味の児童生徒が、学校を休むことは自然な流れであり、結果、不登校が助長されたのではないかと問われ

ています。

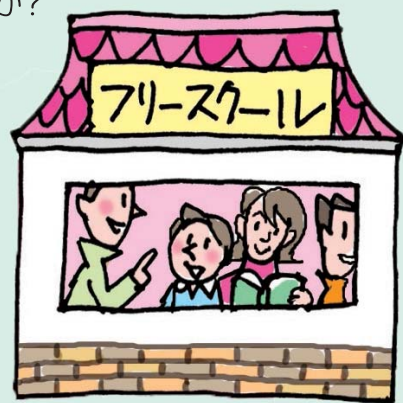
我が子に突然に学校へ行きたくないと伝えられ、不登校という現実と直面し、思い悩んでいるご家庭が少なくありません。学校に通うことが辛いと感じている子どもは、想像以上に多いと考えます。かつては問題行動の一つと見られがちだった不登校も、今では、どの子にも起こりうると思われ、受け止められてきておりますが、公的な機関からの支援が、十分に届いていないとの声を強くいただきます。

義務教育の段階における普通教育相当の機会の確保等に関する法律、いわゆる教育機会確保法では、不登校ということは悪いことではないと捉え、不登校児童生徒支援に対しては、学校へ行くことではなく、将来の社会的自立を目的とした支援を行っていくと定められています。そこで、本市の不登校児童生徒への支援について伺います。

**Q1** | 昨年度に策定された本市の不登校対策パッケージの評価は？  
家庭と学校の情報共有の円滑化については、どのような取り組みか？

**A1** | 不登校対策パッケージの取り組みとして、教育センターのライトポートの機能を拡充しました。また、ステップルームティーチャーの配置を行いました。情報共有の円滑化については、教職員への不登校対策パッケージの研修を行い、各家庭には不登校対策パッケージについて「教育だより」等を介して周知しました。

一方で、フリースクールへ通う児童生徒の家庭への経済的支援策については、昨今では、いくつかの自治体において、フリースクール等を利用促進するための各家庭を支援する補助金制度の創設があります。



**Q2** | フリースクールとの連携強化については、ガイドラインの見直しも見据えて、市内フリースクールとの意見交換、情報交換が必要では？

**A2** | 原因や背景が多岐にわたる個々の状況に応じた支援の充実ため、市内フリースクールと意見交換等を行い「千葉県における不登校児童生徒が通う民間施設についてのガイドライン」の見直しを図ります。

**Q3** | 本市としてもフリースクールへ通う児童生徒の家庭への経済的支援策を創設すべきでは？

**A3** | 国へ財政措置を要望し、国の動向を注視しつつ拡充に向けて取り組んでまいります。

多様な学びの場についてです。児童生徒が緊張せず普段通りに学習できる環境を提供することが必須です。校内のサポートルーム、オンラインでの支援、或いは、夜間中学に不登校生徒が学ぶことも視野に入れてもよいのではと考えています。

特に、市議団として、学校の教室だけでなく校舎にも通えない児童生徒への多様な学びの場の必要性を考え、福島県のオンライン学習支援および相談支援の取り組みや、さいたま市の不登校等児童生徒支援センターが、昨年4月から導入しているメタバース、いわゆる仮想空間による個別学習支援などを視察してまいりました。



福島県



さいたま市

**Q4** | 本市としても、多様な学びの場の環境整備として、オンライン学習や相談支援の拡充をすべきでは？

**A4** | オンラインを活用した学習についての好事例を研修会等で共有し、他の自治体の取り組みを参考にいたします。

「学びの多様化学校」、いわゆる不登校特例校の考え方についてです。先月8月31日付けで、文科省から通知が出され、不登校特例校の名称が、「学びの多様化学校」となったと聞いています。

本年4月1日現在で、全国に24校、公立14校、私立10校の設置数で、不登校の児童生徒の実態に応じた教育課程を設け、授業時間の削減などが可能となることが特徴とのことであります。

「教育機会確保法」では、不登校の子どもも教育から取り残されないように、学びの多様化学校の設置が国と自治体の努力義務とされ、文部科学省も設置を促し、長期的には全国に300校の設置を目標に掲げていると承知しております。

**Q5** | あらためて本市としての学びの多様化学校に対する考え方や設置に向けての検討状況をお聞かせください。

**A5** | 学びの多様化学校の教育上の効果や課題等を把握するために、学びの多様化学校を設置している自治体および当該校等へ調査を実施しました。今後は、調査結果の分析や当該校への視察を行います。

# 皆様からの声が「かたち」になりました!

## ベンチ交換が完了 (8月末)

平柳公園において、「背もたれ」のあるベンチを設置して欲しいとの要望があり、今回更新のベンチ2台は、「背もたれ」ありのベンチに交換していただきました。



## 都町5丁目・都町東公園前の道路

傷んだ路面の再舗装と路肩のカラー化が完了しました。(8月)



## 仁戸名町515番地先

路肩を平らに整形していただきました。(8月)  
大網街道沿いの歩道(路肩)で、舗装の盛り上がりや側溝ふたに傾きがあるなど、路肩の凸凹に困っていますと、車椅子で移動される方からご要望をいただいていたました。



## 千葉市中央区千葉みなと駅付近

モノレール軌道下・緑地帯の剪定作業が完了(6月)  
緑が茂りすぎると車道から歩行者が見えなくなり、防犯上、不安ですと繰り返しお声をいただいています。また、この通りには、夜間、照明が当たらない区間があり、街路樹の本数を減らして欲しいとの要望もあります。引き続き、関係課と連携し対応してまいります。



## 大網街道(千葉寺町赤井町線・松ヶ丘地区)の道路

これまでの議会(平成25年第2回定例会質問)などで、未舗装箇所の暫定的な改善策と水溜まり解消を求めてまいりました。今年度は用地取得が進んだ区間の歩道整備が完了しました。



市政に関するご意見、ご要望など、みなさまの声をお聞かせください。

千葉市議会議員

森山かずひろ

Tel.043-245-5483 Fax.043-245-5584  
<https://moriyama-kazuhiro.com/>